

NEWS LETTER

リフィードバーシールの交換でこんなお悩みはありませんか。

溝にシールを入れにくい、作業に時間がかかる時がある

リフィードバーの溝に密着させるためにシールは溝より大きく設計されており、入れ込むのに手間がかかる場合があります。



➡ リフィードバーシール成型機で改善できます！

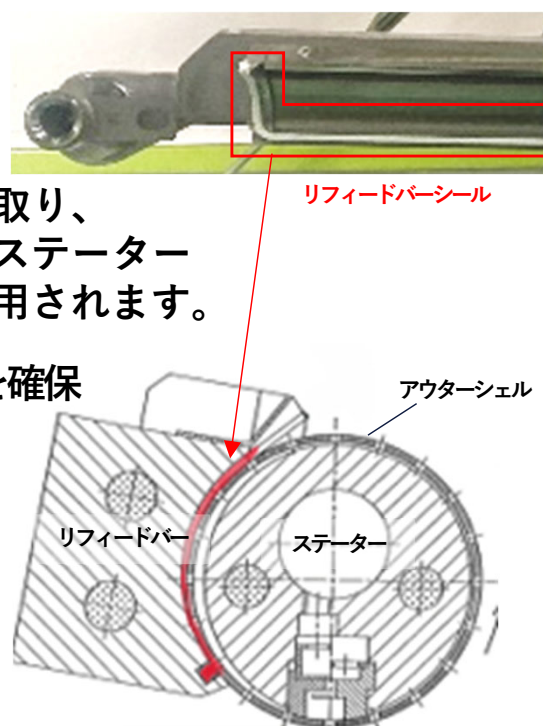
■リフィードバーシールの役割とは？

*リフィードバーシールはリターンガイドシールとも呼びます。

アウターシェルの表面に付着・溜まった製品を拭き取り、その製品をアウターシェルの表面にある穴を通してステーター側に戻します。戻した製品は、次の造粒工程で再利用されます。

- ・リフィードバーを均一な圧力で押し付けることで密着性を確保
- ・アウターシェルの表面をきれいに保ち、均一に造粒する
- ・漏れを防ぎ、清浄性と安全性を向上させる

**製品の漏れ防止、造粒品質の維持に
リフィードバーシールが非常に重要です！**



■リフィードバーシール成型機

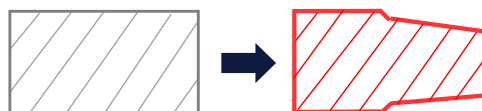
成型機で溝側半分を圧縮して細くし、スムーズに入る様にします。
適切にシールをはめこむことができるようになり、当たり面の凹凸が少なくなり、リフィードバーシールとアウターシェルの密着性が増し、造粒安定性が向上します。

【手動式】

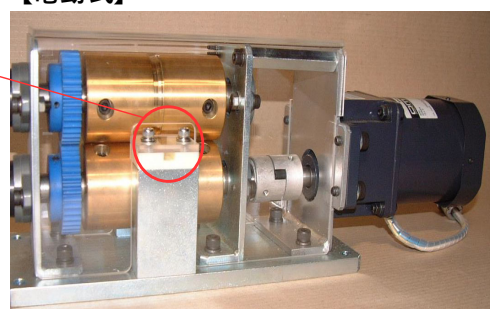


半分に圧縮

リフィードバーシール 断面図



【電動式】



ご興味がある方、リフィードバーシールについてお悩みの方はお気軽に営業担当にお問い合わせください！